

平成 2 8 年 第 1 0 回
仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 2 8 年 8 月 2 5 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成28年第10回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成28年 8月25日(木) 午後2時～

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	畠山 靖
教育次長兼教育総務課長	田口 和典
スポーツ振興係長	平岡 太一
教育総務課参事	能美 正俊
北浦教育文化研究所長	浦山 英一郎
教育総務課参事兼田沢湖学校給食センター所長	伊藤 静子
教育総務課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育総務課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀満希子
生涯学習課長	黒澤久美子
田沢湖公民館長	佐々木幸美
角館公民館長	草薨 正勝
西木公民館長	山田 且也
生涯学習課参事兼市民会館長	新田 康久
生涯学習課参事兼田沢湖図書館長	松田 修子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	富木 弘一
文化財課長兼平福記念美術館長	鈴木 孝昭

5 議事

(1) 議案審議

議案第19号 平成28年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第39号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成28年第10回仙北市教育委員会8月定例会を開催いたします。

次第により会議を進めさせていただきます。書記には朝水参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、河原田職務代理者、坂本委員にお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

次に、私から挨拶をさせていただきます。お盆中、様々な行事が各地で行われております。私の知るところでは、西木町の戸沢氏祭り、田沢湖の市民会館ロビーコンサート、同じく生保内節盆踊り。私は、市民会館のロビーコンサートと生保内節盆踊りに出席させていただきましたけれども、ロビーコンサートは非常に内容のある良い試みで、レベルの高いもので、夕方、あそこで音楽を聴くのは非常にいい気分だなあと思いました。生保内節盆踊りも昨年よりちょっとだけ人が多かったように思いますし、さらにこれまでよりも一層整然と整理された状態で、踊りが展開されておりました。戸沢氏祭りは雨のために行列が中止になったということですが、いずれにしても準備、その他、たいへんご苦労様でした。本日は、議案も少ないようですので、ちょっとだけ私から、ある意味個人的な話でもあるんですけども、お話ししたいことがありますので、ちょっとお耳を貸していただきたいと思えます。先ほど、教育長にもちょっと報告したのですが、私のところに、ここ何十年というか、20年以上になりますか、毎年、中学3年生の受験生の何人かが、私に勉強を教えてくださいということに来て来ておられます。大変は大変ですけれども、私も子どもの夢の挑戦に私自身も挑戦するという意味では、この年で人が私を頼ってくれるということも滅多に無いことであり、やらせてもらっています。先日、嬉しいことに、夏休みが始まったら、私の家に3人揃って遊びに来てくれました。今では学校が楽しくてしょうがないと言っておりました。そういう話を聞きました。4月頃だったと思えますが、人を決めつけて見てはいけないので、なんとかかよろしくとお話したことがあります。子どももやっぱり同様に、やればできると言いながら、そのやり方、やらせ方が大事なことで、人は変わることができるんだなということ強く思いました。そのようなことを昨年、私は子ども達3人から学びました。以上、私の挨拶にさせていただきます。

次は、教育長の報告をお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、8月教育委員会定例会の事務報告をさせていただきます。

—資料により報告—

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

(佐久間委員)

クニマスについて、3回全員協議会が開かれていますが、委員会には直接関係ありませんが、どういう経緯で3回も開かれたのか説明してください。

(畠山教育部長)

クニマスの資料館建設にあたって、工事費その他、設計屋さんが、さまざまな工事の積算をしていくわけですけれども、積算してくれたもので入札しようとしたら、その設計に積算されていないものがあるのではないかと質問があり、そこから話が出てきたようです。普通であれば、もう4,300万円くらいかかるはずであるのだけれども、その分が積算に計上されていないようでした。低く見積もった額で入札しようとした関係で、不足している工事ができないことになり、設計屋の瑕疵でありますので、補償してもらうのか、本来の目的とするところを変えないで、設計変更が可能かどうか、全員協議会を何回かやっているところです。

(佐久間委員)

今年のうちに、ものは出来ないのですか。

(畠山教育部長)

一応、年度いっぱいのは予定ですが、今からの流れでいけば、繰越明許とかにして開館は来年の6月ごろかなというふうな見込みを立てていきたいということです。

(安部委員長)

ほかに質問が無ければ、議事に入ります。

議案第19号、平成28年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明をお願いします。

(田口次長兼教育総務課長)

議案第19号、平成28年度仙北市一般会計補正予算の教育費についての教育総務課、北浦教育文化研究所に関わるところをご説明いたします。

—資料により説明—

(黒澤生涯学習課長)

生涯学習課の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(草薙角館公民館長)

角館公民館の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(新田市民会館長)

市民会館の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(富木学習資料館・イベント交流館長)

学習資料館・イベント交流館の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(平岡スポーツ振興係長)

スポーツ振興課の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(鈴木文化財課長)

文化財課の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

議案第19号についての説明がありました。質問はありませんか。

(佐久間委員)

プールについて質問します。北浦水泳大会は、かなりの歴史と伝統のある大会ですが、先ほどの説明で、今年から生保内に変えるということでしたが、何か予算面とか不都合な点、あるいはボランティアの方からの申し出で場所を変えざるを得なかったのか説明いただきたいと思います。

(平岡スポーツ振興係長)

例年、角館小学校のプールで北浦水泳大会を行って参りましたが、主催者の仙北市水泳協会さんの方からの報告では、角館小学校のプール設備関係が老朽化も含めまして、プールサイドなども大会をするうえで、危険なところも出てきていることと、プールサイドにテントを張るわけですが、かなり手狭な状態でやっていたということでした。生保内小学校のプールが、市内のプールの中では条件が良いということで、今年は生保内小学校のプールで開催してみたいとのお話をいただいております。

(佐久間委員)

これは、持ち回りで各地区を回るのでですか。

(平岡スポーツ振興係長)

そうではないようです。

(安部委員長)

ほかになにかありませんか。

市民会館についてですが、先ほどの説明の中で、6月補正でも補正されて、今回また、運営費として124万円が補正されて、また12月という話でしたが、今回の補正は12月以降のことも含めてということではないのですか。

(新田市民会館長)

12月までの間で判明しているものを計上しております。年間とすると400万円程度はかかるのですが、当初予算の金額がそれに達していませんので。当初予算では、100万円です。

(安部委員長)

100万円しか予算がつかなかったということですか。

(新田市民会館長)

そういうことです。

(安部委員長)

400万円くらいはかかるけれども、100万円しかつかなかったので、補正で対応しているということですね。

(新田市民会館長)

変動要素が大きいもので、必ず400万円かかるとも我々も言い切れませんので、見込みとさせていただきたいくらいですと、当初予算をお願いしていますが、財政の方からは、確実なところから押さえていきたいと思いますというので、減額されている状況です。

(安部委員長)

館長の言っていることは分かりましたが、その時々には補正で対応というのは、運営上そういうものですか。

(畠山教育部長)

本来であれば、一年度にかかる経費を全額当初に計上するのが基本です。ものによっては、先が不確定なものに関しては、市の財政事情もありますが、まず100万円か200万円を計上して、足りなかったら補正で追加していきましょうという予算計上の流れになっていると思います。

(新田市民会館長)

市民会館の場合、自主事業として計画しているもの以外は、利用のお申込みをいただいてから決まることがかなり多く、変動的です。秋田市の文化会館ですと、常設の職員を9名抱えているんですけども、仙北市では、常設の職員を抱えるほどイベントが続かないという事情がございます。大曲の市民会館は、常設職員を抱えていますが、中仙のドンパルが、やはりイベントごとの精算という単価契約で請け負っているということで、仙北市ではそれに準じた形でやらせていただいております。

(安部委員長)

流動的な部分はあるけれども、はっきり分かる部分については、きちっと当初予算からお願いできるようにしたほうが良いと私は思います。

それでは、報告第19号は承認することといたします。

次に、報告第39号、仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(畠山教育部長)

来月の2日から予定されております9月定例議会に報告する教育行政の各種報告でございます。概要についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの報告についての質問はございませんか。

(佐久間委員)

これから申し上げることは、私の感じたことです。1つは、リオのオリンピックです。4年後は東京で開かれますが、子どもたちは一生懸命観たと思いますし、感じたこともあると思います。カヌーの佐々木兄弟ですが、出身地は大仙市ですが、練習はほとんど生保内川でやっているそうです。それから、仙北市内の会社に勤めていて、社長さんをはじめ、社員の方は夜を徹して応援していました。大仙市出身ではあるけれども、仙北市の会社の社員が、あの過酷なオリンピックに出て、一生懸命頑張っているのを会社ぐるみで応援していたことを、どこかで紹介しなければならないのではないかとテレビを観て感じました。これは私の意見ですけれども、ご協議いただければと思います。2つ目ですが、今年仙北市の教育行政の1番は学校のこれからの計画について、当初で議会に説明したわけですが、その中間報告がないということです。アンケートについて、どういう経過かを市民に説明しておく必要があると思います。これについては、みなさん心配していると思います。1番の関心事だと思います。それからもう1つ。今年、仙北市で変わったことでスタートしたのは、県の支援学校と定時制とスペース・イオです。仙北市内では、どういう利用がされているか、活動状況を県から報告を受けて、報告する必要があるのではないかと思います。行事については、このとおりでありますけれども、教育の行政報告でありますので、仙北市の市民全体にかかわる教育行政について、どうだかということ報告しておく必要があるのではないかと私の意見です。

(安部委員長)

貴重な意見が出ました。委員の方々から、今の佐久間委員のご意見について、ご意見を伺いたいと思います。

(坂本委員)

まず、佐々木兄弟に関しては、私もどこかで仙北市として応援する必要があったと思うし、終わった今となっては、市民への報告はやっぱり必要だと思っていました。支援学校についても、県の施設だということは理解していますが、やはり仙北市内にありますし、支援学校そのものは、地域と非常に密接な関係にあると思います。スペース・イオにしても、これから仙北市の教育に大きく関わってくると思いますし、利用者も仙北市の方が多くなると思いますので、やはりそこも密接に関わっていくべきだと思いました。

(佐久間委員)

アンケートの回収率は出ていますか。

(田口教育次長兼教育総務課長)

一般は2,000世帯に配布して、回収が808世帯、回収率が40.4%、保護者は1,595人に配布して、回収が1,352人、84.8%の回収率でした。全体としましては、3,592件の配布で、2,160件の回収で、60.1%の回収率でした。当初予想していた、統計上の意味のある回収率を超えておりますので、目標は十分達成できています。現在の状況ですが、数値については、集計が終わっておりますけれども、報告書の中に一定の様式を整えながら、コメントを我々がチェックしていきます。進捗状況はこのようなかんじですが、間もなく2回目の適正配置検討委員会が開催されますので、そこで報告書が提出され、それに対しての協議の報告を行政報告とする予定です。

(河原田職務代理者)

オリンピックに関しては、少し仙北市は遅れをとったかなというかんじがありますが、事後ということですのでけれども、活躍してくれたということの報告は、やはり行った方がいい

いと思います。支援学校についても、かなり地元とのつながりが強いわけで、小中学校との共同の行事だとか、例えば桜の施肥作業など行っていますし、その辺のところも少し報告に入れたほうがよろしいのではないかと思います。学校の統廃合についてのアンケートですが、私はこのことが一番の関心事だったのですが、子どもさんのいる親御さんは、やはり回収率が高くて、一般市民が50%いかなかったということは、寂しい限りですが、いろいろな分析等をしてからでもいいのかなとは思いますが、回収率の報告だけでもあれば、またちょっと違うのかなと感じました。

(安部委員長)

佐々木兄弟については、行政報告に直接載らなくても、運営協議会など、なんらかの形で報告できればいいのかなと思います。学校適正配置委員会については、どうなっているか不安だったところもありましたが、田口次長の説明を聞いて、順調に進んでいるんだなと安心したところです。支援学校については、どこかに報告する、しないかはともかくとして、支援学校があること自体、仙北市にとって非常に大きな意味があり、多くの市民が障害のある人だけに限らず、優しくなれる条件が揃っていて、それはやっぱり支援学校のおかげだなと強く感じています。そういう意味では、今もやっていますが、今まで以上に私たち教育委員会としても支援学校に協力し、積極的に支援するということは、学校があることに対するお礼という形になっていくのではないかと思います。

(熊谷教育長)

オリンピックの件につきましては、スポーツ振興課で協議させていただきます。先日、佐々木兄弟と専務さんをご挨拶においでくださいました。市長と私で応対させていただきました。たいへん感謝されておりました。総務のほうで扱えばいいのか、その点も含めて協議します。適正配置については、次長からありましたように、この次の行政報告で取り上げる予定です。それから、定時制は県立ですけれども、せんぼく校は小学部がありますし、小学校との交流が非常に盛んに行われておりますので、そういう形で取り上げるのも非常に大切なのかなと思います。スペース・イオも利用者が増えております。行政報告にどのように載せるか、こちらについてもこれから十分に検討させていただきます。

(安部委員長)

それでは、行政報告についてはこれを基本にして、多少事情が変わった場合、あるいは今の懸案になった部分についても検討してもらって、教育長、部長等にお任せしますので、私たちの意見を勘案して作成していただきたいと思います。

それでは、報告第39号は承認することといたします。

では、次にいじめ、不登校対策について説明を求めます。

(浦山北浦教育文化研究所長)

7月のいじめ、不登校の状況について、ご報告いたします。はじめに、いじめについては小学校3件、中学校5件、計8件の報告がありました。次に、7月の不登校は、小学生1名、中学生10名、計11名です。7月の報告は以上です。

(安部委員長)

いじめ、不登校対策について報告がありました。何か質問はありませんか。

—質問なし—

では、教育委員会定例会会議録ホームページ公開についてお願いします。

(朝水教育総務課参事)

お手元にございます、平成28年第8回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧くださいと思います。ページに沿って説明いたします。

—資料により説明—

誤字や脱字、お気付きの点がございましたら、9月2日（金）ごろまでご連絡をいただけるようお願いいたします。

(安部委員長)

ほかによろしいでしょうか。

(坂本委員)

意見ですが、5、6ページのいじめ、不登校に関してですけれども、急に、ここで36件という非常に大きな数字になっておりまして、学校内のアンケートですとか、小さなこともいじめに入れているということで、私たちは理解していますが、これを見た人が、1ヶ月の間に36件もいじめがあったというふうに理解してしまうのではないかという心配があります。なぜ、この時から急に増えたのかという説明が必要であったり、この36件のうち、35件は解消しましたという表記がありますので、そこを生かすとか、深刻ないじめが36件もあるわけではないということが分かる表記にしていただければと思います。

(鈴木文化財課長兼平福記念美術館長)

皆様にお配りしている角館のお祭りの冊子でございますけれども、平成27年度末に文化遺産を生かした地域活性化事業で作成したものでございます。お祭りまで残すところ2週間を切りまして、夏休みも明けたということで、市内の各小中学校にパンフレットと冊子を配りまして、それに合わせて関係団体にも配りました。もう1点、美術館からです。前に報告しました物損事故についてですが、9月の定例議会に専決処分の報告として載りますのでご承知いただきたいと思っております。86,378円の損害額を支払う形で示談してございますのでご承知願います。

(朝水教育総務課参事)

次回の教育委員会は、9月30日（金）午後12時半からを予定しております。

7 閉会宣言 平成28年8月25日 午後3時15分